

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、高水準の当座預金残高を背景に、落ち着いた地合いで推移した。実勢の出合いは概ね0.07%台半ばであったが、試し取りが週を通して見られたため、無担保コールO/N加重平均レートは若干上昇した。特に11日は複数の業態が試し取りを行ったため、加重平均が0.083%まで上昇した。ターム物に関しては、大手行から1Wでの調達が見られていた。固定金利方式の共通担保オペは、期日が無く、オフアーされなかった。

今週は新しい積み期間に入る。特段レートに変化は無く、無担O/Nは引き続き0.07%台での出合いが中心になると見られる。当座預金残高は、20日の国債大量償還・利払いに加え、短国・長国買入オペのスタート(17・20日)や貸出増加支援オペの実施(18日)等によって、過去最高(今年2月13日の186兆4,100億円)を更新する見通し。主な経済イベントとしては16~17日の金融政策決定会合、17~18日のFOMCが挙げられる。FOMCでは声明文の変更・修正が成されるか否かに注目が集まる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、3月期末を控えた担保需要や海外からの買いが見られたことで、堅調な地合いが続いていた。12日には3M物の入札が実施され、平均落札利回 ▲0.0004% 按分落札利回0.002%とほぼ事前予想通りの結果となった。足切りレートが若干のプラス圏と、投資家が購入できる水準となっていることで、業者の在庫は軽めとなっている印象であった。出合いの中心は3Mで0.00%近辺、やや需給的にタイトな6Mは▲0.015~▲0.01%程度となっていた。短国買入オペは13日に10,000億円で通知され、平均、按分利回較差が共に+0.001%という結果となった。引値を勘案すると落札の中心は6Mゾーンで▲0.013%と推測される。

先週のCP市場は、週間の償還総額6,800億円程度に対し、発行総額は4,400億円程度にとどまった。石油・機械・鉄鋼業態からの大型発行案件が見られたものの、3月末のバランスシートが意識されているためか、全体としては発行案件が減少傾向となっていた。足元の発行残高は17兆円近辺となっているが、期末の発行残高は更に減少するものと予想される。発行レートは、a-1+格で0.085~0.095%、a-1格で0.095~0.105%程度とほぼ横ばい圏との印象であったが、期内償還物や発行残高が積みあがった銘柄で上昇気味となる一方、一部の期越償還銘柄では投資家の買い需要から小幅に低下する動きも見られた。

今週の短国市場は、18日に1Y物、19日に3M物の入札が実施される他、20日に短国買入オペの通知が予想されており、結果が注目される。また、貸出増加支援オペの3月分貸付額が16日に発表予定となっている。今後の短国買入オペのオフアー額に影響するため、こちらの結果にも注目したい。CP市場は、18日にCP等買入オペが予定されている。落札レートの上昇傾向が続いており、結果に注目が集まる。発行レートは引き続き、期内物と期越物との乖離が継続するものと予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,800億円程度の発行超見通し。財政資金は、20日の国債の大量償還・利払いを中心に2兆6,200億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆4,400億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<16日>TB3M;償還55,800億円・発行57,000億円/2Y;償還18,500億円・発行27,000億円/個人向け3Y;償還500億円/個人向け3Y・5Y・10Y;発行1,200億円 <20日>TB1Y;償還6,000億円・発行25,000億円/5Y;償還37,500億円・発行27,000億円/10Y;償還59,900億円・発行24,000億円/20Y;償還1,900億円・発行12,000億円/30Y;発行7,000億円/エネルギー対策借入;期日4,000億円・新規3,500億円/道路債償還1,800億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オベ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/16(月)	1,200	△ 6,800	△ 5,600	CP買入 社債買入 ETF買入 国債補完供給	△ 400 △ 200 200	300	△ 100	△ 5,700
3/17(火)	1,000	3,000	4,000	短国買入		10,000	10,000	14,000
3/18(水)	△ 1,000	4,000	3,000	貸出増加支援 社債買入	△ 15,800	1,000	△ 14,800	△ 11,800
3/19(木)	△ 1,000	4,000	3,000				0	3,000
3/20(金)	△ 2,000	22,000	20,000	全店共通(固) 国債買入	△ 5,700	10,500	4,800	24,800
週間合計	△ 1,800	26,200	24,400		△ 21,900	21,800	△ 100	24,300

(注) 上表の3/16は日銀予想、3/17以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/16(月)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)		2月の米鉱工業生産・設備稼働率
3/17(火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		米FOMC(1日目) 2月の米住宅着工件数 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値
3/18(水)	2月の貿易統計(財務省 8:50) 金融経済月報(日銀 14:00)	TB1Y 25,000億円 3/20発行	米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表
3/19(木)		TB3M 57,000億円 3/23発行	
3/20(金)	日本外国特派員協会にて黒田総裁講演 金融政策決定会合議事要旨(2月17・18日分8:50)		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入